

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5221 太平洋の文化と歴史			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	D110教室				
代表教員	馬場 淳				
担当教員	馬場 淳				
テーマと到達目標	本講義のテーマは、太平洋地域（オセアニア）の社会と文化およびそれらを作り上げてきた歴史である。本講義の目標は、①高校までの歴史・地理教育ではあまり触れることのない太平洋地域の基礎的な知識を身につけ、②先進国・自文化中心的な思考に囚われることなく、現地人と他者（とくにヨーロッパ人）の双方向的な視点から太平洋の文化・社会・歴史の動態を理解する能力を養うことである。				
概要	本講義は3つのパートから構成される。第1に、太平洋の国々や生態環境、人間類型を概観したうえで、太平洋の人々がどのように海の世界に移動してきたのかを考える。第2に、大航海時代から植民地化を経て独立までの歴史を、ヨーロッパ人と現地住民の双方の視点から見ていく。第3に、太平洋各地の社会構造、ジェンダー、観光文化、文化表象（映画）、先住民運動を通して、太平洋の社会と文化の特性を考える。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	ガイダンス				対面授業
第2回	太平洋の地理・国家・民族				対面授業
第3回	太平洋への民族移動				対面授業
第4回	大航海時代の中の太平洋				対面授業
第5回	異文化接触の政治学：キャプテン・クックの死をめぐる				対面授業
第6回	太平洋の植民地化と独立				対面授業
第7回	島嶼社会の構造と文化的特性：メラネシアの事例				対面授業
第8回	島嶼社会の構造と文化的特性：ポリネシアとミクロネシアの事例				対面授業
第9回	太平洋のジェンダー・セクシュアリティ				対面授業
第10回	太平洋をめぐる文化表象の問題：ディズニー映画を事例にして				対面授業
第11回	太平洋の観光開発：ヴァヌアツ共和国の営み				対面授業
第12回	文化復興運動：ハワイアン・ルネサンスを事例に				対面授業
第13回	太平洋の先住民運動：ハワイを事例に				対面授業
第14回	伝統文化をめぐる論争				対面授業
第15回	総括とテスト				対面授業
成績評価の基準	テスト（58%）、毎回のリアクションペーパー（42%）にもとづき評価する。 ※期末に実施するテストは、授業内容の理解度を問うものとする。				
履修にあたっての留意事項	・前提ではないが、世界の地理や「世界史」に関する知識を事前に得ておくことが望ましい。 ・本講義は、文献や視聴覚資料の他、担当者のフィールドワークで得た資料を横断的に組み合わせて展開される（ゆえに特定の教科書は指定していない）。期末テストはその授業内容が問われるため、毎回の出席が望ましい。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	とくになし		
教科書	特定の教科書は指定しない。各回の授業で配布するレジュメが教科書の代わりとなる。	教科書(ISBN)	
参考文献	参考文献は授業中に適宜指示する。参考までに以下の文献を挙げておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・梅崎昌裕・風間計博(編)『オセアニアで学ぶ人類学』昭和堂(2020年)。 ・吉岡政徳(編)『オセアニア学—環境と文化』京都大学出版会(2009年)。 ・中野聡・安村直己(責任編集)『岩波講座 世界歴史19 太平洋海域世界：～二〇世紀』岩波書店(2023年)。 ・山本真鳥(編)『世界各国史27 オセアニア史』山川出版社(2000年)。 	参考文献(ISBN)	9784812220054 9784876987894 9784000114295 9784634415706

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--